

令和6年度 農作物病害虫発生予察2月月報

令和7年(2025年)3月3日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	3.7	4.4	△ 0.7	7.5	9.7	△ 2.2	1.2	0.1	1.1
2.2	-0.1	4.8	△ 4.9	4.8	10.2	△ 5.4	-3.5	0.3	△ 3.8
2.3	4.3	5.3	△ 1.0	10.8	10.8	0.0	-1.8	0.6	△ 2.4
2.4	4.1	5.8	△ 1.7	9.4	11.4	△ 2.0	-0.2	0.9	△ 1.1
2.5	1.5	6.5	△ 5.0	7.3	12.1	△ 4.8	-3.3	1.5	△ 4.8
2.6	7.8	7.0	0.8	14.4	12.7	1.7	2.6	2.0	0.6
平均・計	3.6	5.6	△ 2.1	9.0	11.2	△ 2.1	-0.8	0.9	△ 1.7
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
2.1	38.5	11.6	26.9	15.0	20.2	△ 5.2			
2.2	5.5	11.9	△ 6.4	17.8	21.0	△ 3.2			
2.3	4.0	14.0	△ 10.0	25.6	21.7	3.9			
2.4	0.5	15.9	△ 15.4	36.9	22.5	14.4			
2.5	3.5	17.8	△ 14.3	27.9	23.0	4.9			
2.6	1.5	15.6	△ 14.1	14.8	18.0	△ 3.2			
平均・計	53.5	86.8	△ 33.3	138.0	126.4	11.6			

II 作物の生育状況

イチゴ : 平年に比べて気温は低く推移しており、生育はやや遅れ気味となっている。かおり野では、2番果房収穫中盤で、第3果房も連続して出蓄している。

タマネギ : 定植後の気温が低く推移したことにより、生育停滞が見られ、葉長・生葉数とも平年をやや下回っている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

2025年2月

1 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
果樹全般 カメムシ類	クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(10か所)では、1トラップ当たり3.1頭(平年30.9頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	—

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年10.5%)、発病株率0%(平年0.8%)、発病葉率0%(平年0.2%)、発病果率0%(平年0.1%)で平年に比べ少なかった。	—	—
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0%(平年17.4%)、発病株率0.1%(平年1.6%)、発病果率0.0%(平年0.4%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.5%)、発病株率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0%(平年17.0%)、寄生株率8.5%(平年1.9%)で平年に比べ多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5 中 5 少 20 計 30
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0%(平年44.5%)、寄生株率9.7%(平年14.9%)で平年並みであった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	多 5 中 5 少 20 計 30
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年23.3%)、寄生株率0%(平年4.0%)で平年に比べ少なかった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年24.5%)、寄生花率1.4%(平年2.0%)で平年並みであった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	多 10 中 5 少 10 計 25

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ (調査ほ場数：28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年3.6%)、発病株数0% (前年 0.1%)、1a当たり越年株数0 (前年 0.1) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年3.6%)、発病株率0%(前年 0.4%)で前年並みであった。1a当 たり調査では、越年り病株の発生ほ場率 0%(前年8.6%)、発病株数0(前年1.5) であった。	—	—
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年3.6%)、発病株率0% (前年 0.1%)、1a当たり発病株数0 (前年 0.7) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年4.3%)、発病株率0%(前年 0.9%)で前年並みであった。1a 当 たり調査では、発生ほ場率0%(前年 6.8%)、発病株数0(前年8.4)であ った。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年3.6%)、発病株率0% (前年 0.1%)、1a当たり発病株数0 (前年 0.2) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年1.8%)、発病株率0%(前年 0.0%)で前年並みであった。1a 当 たり調査では、発生ほ場率0%(前年 3.2%)、発病株数0(前年0.1)であ った。	—	—
ボトリチス属菌に よる葉枯れ症(白 斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められ なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0.4%)、発病株率0%(前年 0.0%)で前年並みであった。	—	—
軟腐病、さび病、 萎黄病	中旬の巡回調査では、発生は認められ なかった。 下旬の巡回調査では、発生は認められ ず前年並みであった。	—	—

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp